

寂しいもんだ



ふるさとはいくつになっても変わらない
第二の人生を考えるきっかけに

岩美町還暦者の集い開催

1月11日（日）、本年度還暦を迎える方を対象に、現在、岩美町が抱えている諸問題（耕作放棄地や遊休農地の解消、新規就農者の育成、協働のまちづくりへの参加等）や今後のセカンドライフについて考えていただき、長年にわたって蓄積された知識・技能・エネルギーを自発的な地域活動や取り組みにつなげていただくため、今回初めて「岩美町還暦者の集い」が岩美町中央公民館講堂で開催されました。

今回の集いの対象者は、岩美町内に在住又は岩美町出身者で、昭和23年4月2日～昭和24年4月1日に生まれた方で、当日は千葉県など県外からの参加者を含め約70名が参加しました。NPO法人 ウイング本庄 川下 滉さんの「シニアのこれからの人生の楽しみ方」をテーマとした事例発表では、ウイング本庄の設立の経緯、ブラジルでのボランティア活動等について映像を見ながらのユーモアあふれる話に熱心に聞き入っておられました。

また、岩美町還暦者の集い実行委員会（委員長 佐藤 良治）主催の交流会では、参加者が各自の近況報告を行うなど交流を深めていました。

セカンドライフについて語る川下さん



岩美南小学校児童の歌に感動



還暦者の集いに参加された方に聞きました

今回初めて開催された還暦者の集いについてどう思われますか？



小谷 昇さん（宇治）
岩美町のよさを改めて感じられる場所になったと思います。
みんなが岩美町を考えるいい機会になると思います。



実行委員長 佐藤良治さん（網代）
今すぐには岩美町のためという話題にはならないかもしれませんが、これを機会に何かあった時、声をかければみんな集まってくれるだろうと思います。これで終わりじゃなく、次につなげていきたいと思うし、つながると思います。



仲山初世さん（浦富）
ひとつの区切りとしてあった方がいいと思います。県外の方がUターンするきっかけになると思います。



山本敬子さん（浦富）
改めて岩美を考え直す機会になりました。第二の人生の中で何が一体できるだろうかと考える機会を与えてくれました。
岩美南小学校の歌がとてもよく、雰囲気盛り上げてくれました。感動しました。



乙野かをりさん（浦富）
つい最近大阪からUターンしてきました。これから何をするか模索している状態ですが、参加してこれから考えるいい機会になりました。